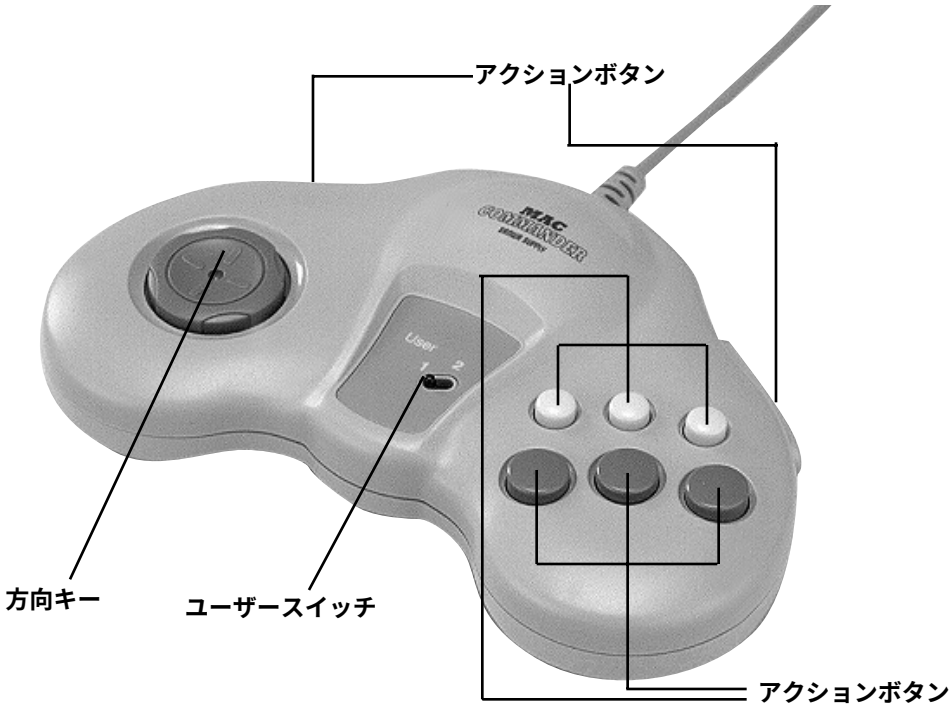
マック　コマンダー

MAC COMMANDER取扱説明書

SANWA SUPPLY

ご使用の前によくお読みください。

必要なシステム構成
- ●ADBポートのあるMacintosh
- ●System7.0以降
- ●ハードディスクドライブ推奨
- ●空きメモリ600KB以上



JY-MAC2
ゲームパッド
\6,500

サンワサプライ株式会社

もくじ

はじめに ---------- 3
◯概要
◯必要なシステム構成
◯パッケージ内容
◯本製品の仕様
◯使用上の注意

第１章-本製品の特長 ---------- 5

第２章-インストール方法 ---------- 6
◯ハードウェアの接続
◯ソフトウェアのインストール

第３章-機能の設定方法 ---------- 8

Macintosh、Power Bookは米国Apple社の米国および他の国における商標または登録商標です。
サードパーティ製品の併用にあたっては、それぞれのマニュアルをごらんください。
サンワサプライはこれらの製品についての動作保証は致しません。

このマニュアルに記載されている内容は予告無く変更することがあります。

FCC規格準拠
この製品はFCC規格第１５条に基づき、ClassBデジタル機器規制の制限内でテスト、製造をおこなっております。

Printed in Taiwan

はじめに

このたびはMAC COMMANDERをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

MAC COMMANDERはApple Macintosh、Power Macintosh、MacOS互換機用のゲームコントロール機器です。またキーボードを使用する教育用ソフトやインタラクティブなソフトにも使用できます。

このマニュアルでは、以下のような表記をしています。

- ●クリック: マウスのボタンを押す。
- ●ダブルクリック: マウスのボタンを続けて2回押す。
- ●ドラッグ: マウスのボタンを押したままマウスを動かすこと。
  （アイコンなどを移動させるときに使います。）

必要なシステム構成

- ●ADBポートのあるMacintosh　またはMacOS互換機
- ●System7.0以降
- ●ハードディスクドライブ推奨
- ●空きメモリ600KB以上

パッケージ内容

- ●MAC COMMANDER本体
- ●インストールディスク1枚
- ●取扱説明書（本書）

仕様

●コントロールボタン: 方向キー×1、アクションボタン×8
●ユーザースイッチ: プレイヤー1、プレイヤー2
●ADBコネクタ: ミニDin4pinオス
●ADBケーブル長: 90cm
●EMI/RFI:CE APPROVED、この製品はFCC規格第15条に基づき、
ClassBデジタル機器規制の制限内でテスト、製造をおこなっております。
●重量: 175.6g
●消費電力:180mA以下
●使用温度: 0～50℃
●保管温度: -40～50℃
●使用湿度: 10%～80%（結露しないこと）
●保管湿度: 5%～90%（結露しないこと）

使用上の注意

■長時間本製品を使用する際は、定期的に休憩を取るようにしてください。
腱鞘炎などの肉体的な疲労症状や精神的な疲労を起こす可能性があります。
ご自身の体力の限界以上に作業することのないように注意してください。
■本製品とコンピュータ本体との接続、取り外しは必ず電源を切った状態でおこなってください。電源を入れたままの状態で抜き差しすると最悪の場合コンピュータが壊れることがあります。この場合は当社の保証の限りではありません。

■ 第1章---本製品の特長■

MAC COMMANDERには、ユーザースイッチ・アクションボタン・方向キーの3種類のボタンがあります。

1. ユーザースイッチ
　同時に2台のMAC COMMANDERを接続した際、それぞれの認識番
　号を設定するために使用します。
　（1台を1に設定したら、もう1台は2に設定してください。）
　※ユーザースイッチの設定は、必ずパソコンを起動する前におこなってください。

2. アクションボタン
　8つのアクションボタンは、それぞれ独立していますので、付属インストールディスクによってキー操作やマウスボタンの働きを割り付けることができます。

3. 方向キー
　「キーボードモード」と「マウスモード」、2通りの設定があります。
　●「キーボードモード」
　方向キーにキーボードのキー操作を割り付けるモードです。
　方向キーを押すとキーボード上のキーを押したのと同様の働きをするようになります。
　●「マウスモード」
　方向キーにマウス操作を割り付けるモードです。キーボードからの操作をサポートしていないゲーム等をするときに使用します。

■第2章---インストール方法■

●ハードウェアの接続
MAC COMMANDERはApple社のADB規格に基づいて製作されていますので、マウスなど他のADB機器同様、簡単に接続することができますが、念のため取り扱いには十分注意してください。

1.まず、コンピュータ本体の電源を切ってください。

注意: 電源を入れたままでおこなうと､コンピュータ本体やADB機器に重大なダメージを与えることがありますので、ADB機器を接続する際は必ずコンピュータの電源を切ってからにしてください。

2.コンピュータの背面やキーボード側面にあるADBポートに
MAC COMMANDERを接続します。
※接続するゲームパッドが1台の場合ユーザースイッチは1でも2でもかまいません。

注意: 2台目のMAC COMMANDERを接続する場合、2台目のMAC COMMANDERのコネクタを1台目のMAC COMMANDERの空いているポートに接続してください。
接続するADB機器は合計3台までと推奨されています。また合計の消費電力がMacintoshの許容値を超えないようにしてください。
詳しくはそれぞれのADB機器及びコンピュータ本体のマニュアル等をご覧ください。

3.空いているADBポートにマウスを接続し、コンピュータ本体の電源を入れます。
注意:MAC COMMANDERを使用するには付属のインストールディスクを正しくインストールしなければなりません。

以上でハードウェアの接続は完了です。

●ソフトウェアのインストール

1.MAC COMMANDER本体を接続してから、コンピュータの電源を入れてください。

2.インストールディスクをフロッピードライブに入れ、画面に表示されるアイコン(図1)をダブルクリックしてください。

図1

3.ウィンドウ(図2)が表示されます。

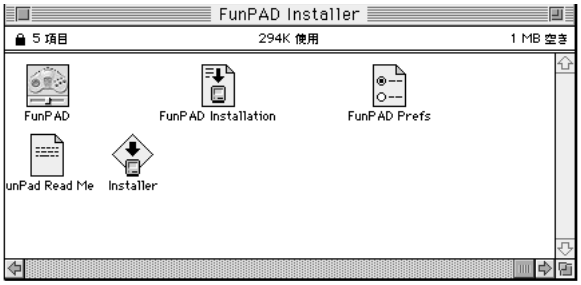


図2

4.「Fun PAD installation」のアイコンをダブルクリックするとウィンドウ(図3)が表示されます。

5.「Install」をクリックするとインストールを開始します。

6.約5秒間でインストールは完了します。

7.図4の画面が現れたらインストールは成功です。「Restart」をクリックしてコンピュータを再起動させてください。

図3

図4

起動中、画面下部に以下アイコンのどれかが表示されます。

●ADBデバイスに問題があります。

●FunPADがうまく接続されていません。

●FunPADが正しくインストールされました。

■ 第３章---機能の設定方法■

コントロールパネルからFunＰＡＤを開いてください。
「FunＰＡＤ」ウィンドウがあらわれます。以下、これをメイン画面と呼びます。（図５）

１.新規ゲーム設定の作成

「Current Settings」の中には、あらかじめ8種類のゲームが設定されています。
また、ゲーム設定を新しく作成・編集することができます。

１. メイン画面の「Edit...」をクリックしてください。（図５）

図５

2.アクションボタン・方向キーの設定

メイン画面の「Edit...」をクリックすると 図6、7のような画面があらわれます。
MAC COMMANDERのイラストの左下にあるボタンをクリックするとモードを選択することができます。
「キーボードモード（Keyboard）」を選択すると図6のような画面があらわれ、
「マウスモード（Mouse）」を選択すると図7のような画面があらわれます。

キーボードモード

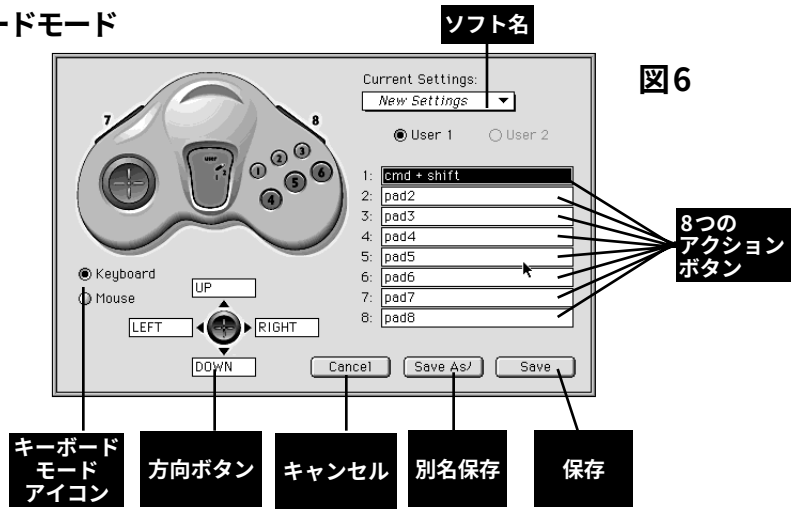


図6

マウスモード

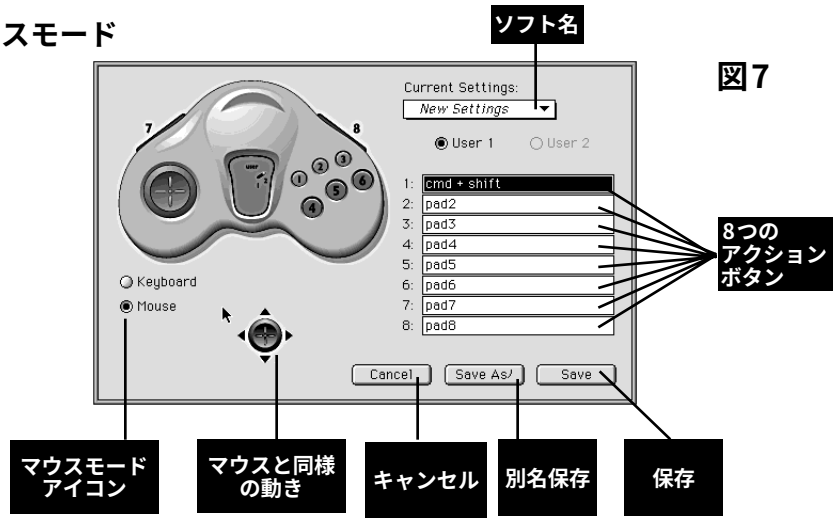


図7

⚠ 入力モードを
「半角英字を直接入力」にしてください。

アクションボタンの設定

キーボードモード、マウスモードともに設定方法は同じです。アクションボタンをクリックしてからキーボードのキーを押すと、そのキーがアクションボタンに割り付けられます。
※マウスボタンを割り付ける場合は、アクションボタンをクリックしてから「コマンドキー」+「マウスボタン」を押してください。

方向キーの設定

キーボードモードでは、4方向全てを設定することができます。任意のキー操作をそれぞれのボタンに割り当ててください。マウスモードでは方向キーの設定は変更できません。

設定が完了したら、以下の方法で保存してください。
「Save」：上書き保存
「Save As...」：名前を付けて保存
「Cancel」：設定をキャンセルし、元の画面に戻る。

3. ゲーム設定のロード

作成したゲーム設定は一度保存すれば、「Current Settings」の中に登録されあとはいつでも使用することができます。

4. ゲーム設定の削除

1. 削除したいものを「Current settings:」メニューの中から選択しておいて、「Delete」ボタンをクリックしてください。
2. 確認画面があらわれますので、本当に削除してよければ「Delete」ボタンをクリックしてください。